

# お告げのマリア修道会



## まごころ会

2023年3月  
Tel.095-846-8300



『わたしは主のはしたためです。  
お言葉どおり、この身になりますように。』

### 日本の信徒発見の祝日



1865年3月17日、10数名の男女が、建てられて  
まもない長崎の大浦天主堂を訪れ、プチジャン  
神父に「わたしたちは皆、あなたと同じ心です。」  
と、キリスト教の信仰をもっていることを告白  
しました。250年もの間、厳しい取り締まりに耐  
え、信仰を守り通した信徒たちがいることは、す  
ぐに世界に発信され、大きな驚きと喜びを与え  
ました。長崎の各地に隠れ住んでいたキリシタ  
ンたちも、話を聞いてプチジャン神父に会いに  
来ました。このできごとをきっかけにして「浦上  
四番崩れ」が起りましたが、初めて見るサンタ  
マリアのご像はどれほどの慰めを与えたのでし  
ょうか。今日も私たちの母として変わらないマ  
リア様に信頼して日々を送ることができますよ  
うに。

### まごころ会会員帰天、お祈りください

- ・ミカエル 浦越 初一 87歳 古江教会
- ・テレジア 谷口 トシ 88歳 江袋教会
- ・マリア 宮原リヨ子 92歳 桐教会
- ・ヨアンナ 大山みどり



### 「総会からの新しい歩み」

修道院・事業所の再編成に伴い、3年前  
に、閉鎖した福見修道院の墓地を本部に移し  
ました。おたより令和4年9月号から抜粋  
して紹介します

『8月20日(土)萩原神父様司式のもと、  
本部修道院、養成修道院のシスター方のお祈  
りの中で、修道会納骨堂に福見出身4名のシ  
スターが納骨されました。

福見修道院出身の高齢シスターの願いと  
して「本部納骨堂に先輩シスター方を改葬し  
たい」との思いがあり、ご親戚、出身シス  
ターのご意見を伺い今回の修道会本部への納  
骨となりました。

福見修道院墓地から桐修道院チャペルへ  
移ってからは、福見、高井旅の親戚皆様もお  
祈り、お別れに来て下さり共に感謝の時を過  
ごしました。』

その後、ご親戚の方が本部の納骨堂に足を  
運んで下さり、思い出を語ってくださること  
もありました。

これから、再編成が進むにつれて、様々な  
課題があると思いますが、最善と思われる道  
を模索しながら歩みを進めていきたいと思  
います。

